

ま ち の 話 題

豊岡

校庭芝生化「校庭へポット苗移植」 園児から高齢者まで 地域力結集！

6月25日、三江小学校児童と同幼稚園児、保護者、地域住民など約400人が集まり、校庭に芝の苗を移植しました。この苗は、5月初めに同校児童や保護者、地域住民がポットに植付け、育ててきたものです。順調にいれば、運動会は芝生の上での開催となります。

三江小学校幼稚園校庭芝生化実行委員会委員長の升田康博さんは、「芝生だと転んでも痛くなくて思い切り走れる。元気いっぱい体を動かしてほしい」と話していました。

この日は田鶴野・港西小学校でも苗を移植しました。本年度の芝生化は、小学校、幼稚園、保育園、子育てセンターで実施しています。



▲予想以上の方が参加。広い校庭にみるみる芝生の苗が並ぶ

城崎

玄さんボートに挑戦 ボートの普及啓発のために 一肌脱ぎます

6月18日、城崎ボートセンター周辺（城崎町楽々浦）で、「円山川城崎ボートフェスティバル」に向けた練習会がありました。

この日、ボートの普及啓発を兼ねて、市マスコットキャラクターの玄武岩の玄さんがボートに挑戦しました。

玄さんは、ボート大会に向けて練習する選手たちのナックルフォア（5人乗り）のボートに乗り込むと、オールを器用に使い、舵取りの掛け声で一先懸命ボートを漕いでいました。9月には、城崎町桃島でボート大会、第20回全国市町村交流レガッタ豊岡大会を開催する予定です。



▲初めてボートに挑戦する玄さん

竹野

草木染め教室 草木の染料で オリジナル模様が完成！

7月3日、竹野南森林公園（竹野町森本）で、竹野南里山の会主催の草木染め教室が開催され、10人が参加しました。

当日は、溶かした「ろう」を筆で白布に塗り、染料につけると、その部分が白く染め抜かれる「ろうけつ染め」に挑戦です。

参加者は、ろうで好みの絵などを絹のハンカチに描き、紅梅、コウゾ、ススキから抽出した染料で色を付け、ろうを落として完成したオリジナルハンカチに満足そうでした。

南里山の会から「皆さんも知り合いに教えてあげて」と言われた参加者は「家でやってみようかな」と笑いながら答えていました。



▲何を描こう？動物？植物？…筆遣いが難しくって（笑）

日高

こども奉納相撲

豆力士らがすごい踏み

元気いっぱい はつけよう!!

7月10日、日高町久斗の石籠神社で、100年以上の伝統を誇る「こども奉納相撲」が行われました。梅雨が明け青空が広がる中、久斗区の幼稚園児から小学6年生までの26人が熱戦を繰り広げました。

子どもらは、自分の四股名が書かれたまわしを締め、家族らの「行け行け」のこったのこったなどの熱い声援を受けながら元気いっぱい「勝ち抜き戦」と「割相撲」を戦いました。勝ち抜き戦で王座に輝いた「閃山」こと山田紘史郎君(日高小6年)は「初めて王座になった。勝てるとは思わなかったのですが、うれしい」とはにかんでいました。



▲水入りになりそうな大一番に手に汗握る家族や地域住民ら

出石

小学生による野菜の収穫体験！ 旬の食べ物を… 知って、学んで、食べよう！

6月15日・22日・28日の3日間、小坂・弘道・小野小学校の児童が地場産野菜の収穫を体験しました。この取組みにより、小学生は地域農業や地場産野菜に対する理解を深め、学校での食育教育も進みます。収穫されたタマネギ・トマト・ジャガイモは、出石地域内の学校給食に利用されました。

トマトの収穫体験に協力している田中政信さん(出石町三木)は「トマトを嫌いな子も、うちのトマトを食べるとおいしいと喜んでくれる」と、うれしそうに話します。小学生らは「甘酸っぱくておいしい」と大きな声でほしやぎ、次々とトマトを収穫していました。



▲完熟した真っ赤なフルーツトマトを収穫し、おいしそうに試食する小学生ら

但東

シルク温泉やまびこ「田んぼアート」
但東に

「ウノトリ舞い降りる?!

今年初めてシルク温泉やまびこ(但東町正法寺)前の田んぼに、「コウノトリ」を描いたアートがお目見えしました。これは、5月21日シルク温泉やまびこ社員らが、地元農家から借りた約17・5アールの田んぼに、白い葉を付ける「ゆきあそび」など3種類の古代米と、こしひかりの稲約8万株で描いたものです。

6月下旬には、緑をバックに白と黒のコントラストがくっきり浮かび上がり、観光客らを楽しませていました。8月初旬ごろには目と足の部分に植えられた「べにもち」の赤が色付き、9月末まで楽しめます。皆さん、ぜひ但東を訪れ、幸せを持ち帰りください。



▲幸せ感じるコウノトリの田んぼアート。今年、但東町では4カ所で田んぼアートが見られます